

## ■平成23年度（全期）釧路市観光入込客数 調査結果（概要）

- ・平成23年度観光入込客数は約298万人、宿泊客延数は約103万人
- ・上期では震災による影響を大きく受けるも下期で回復へ
- ・訪日外国人宿泊客延数 昨年度比約3割減の40,156人 台湾人宿泊客延数は1,160人増

[1] 観光入込客数等の状況（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）

単位：人、%

区 分	観 光 入 込 客 数		左 の 内 訳		宿泊客延数	
	道 外 客	道 内 客	日 帰 り 客	宿 泊 客		
釧路地区	2,040,865 (▲1.4)	621,566 (▲2.6)	1,419,299 (▲0.9)	1,591,216 (▲1.5)	449,649 (▲1.2)	523,058 (▲0.9)
阿寒地区	931,118 (▲8.9)	416,985 (▲16.6)	514,133 (▲1.5)	455,918 (▲8.6)	475,200 (▲9.3)	499,850 (▲11.3)
音別地区	10,431 (▲9.2)	488 (+2.5)	9,943 (▲9.7)	7,405 (▲12.2)	3,026 (▲0.8)	3,553 (+0.1)
合 計	2,982,414 (▲3.9)	1,039,039 (▲8.8)	1,943,375 (▲1.1)	2,054,539 (▲3.2)	927,875 (▲5.5)	1,026,461 (▲6.3)

※カッコ内は前年と比較した増減率（%）

※調査方法は、釧路地区については交通機関等の利用者から算出する流入地点調査、阿寒地区と音別地区は宿泊施設等の利用者数から算出する観光地点調査により集計。

### 【観光入込客数等の増減状況・主な要因】

■23年度の当市における観光入込客数は、当初 震災の影響を大きく受けたものの、その後は自粛ムードの緩和や、道東道 夕張IC・占冠IC間の開通により、都市間バスやマイカー利用が好調であったこと等、回復の兆しを見せた。

結果として入込総数は前年同期と比較して3.9%減少し、2,982,414人となった。

宿泊客延数については、特に宿泊客数の割合が大きい阿寒地区において、震災・原発事故による観光需要の落ち込みの影響を大きく受けたことから、6.3%（68,514人）減少した。

■釧路地区における観光入込客数については、第1四半期（4月～6月）で震災の影響が続いたことにより、前年同期と比較し16%減少したが、その後は順調に回復し、第4四半期（1月～3月）には7%以上増加した。（裏面を参照）

■阿寒地区においては、震災や円高、大型ホテルの休業によって国内外ともに大きな落ち込みを見せたが、東北方面から道東へ行先を振り替えた修学旅行や避暑滞在の誘致などにより、結果として入込客数は昨年同期と比較し8.9%（91,271人）、宿泊客延数は11.3%（63,837人）の減少に留めることができた。

震災の影響が続いたこともあり、23年度における入込客数は全体としてやや減少となったが、後半は回復し増加した。

今後は、阿寒湖アイヌシアター「イコロ」のオープンや、タンチョウ・マリモの特別天然記念物指定60周年等を弾みとして、MICEの誘致推進を図りつつ、入込客数増加に向けて関係機関と連携し、働きかけを強めることとする。

また、釧路地域が観光庁より訪日外国人旅行者の受入環境整備に係る地方拠点に選定されたことから、外国人旅行者が安心して快適に観光するための環境整備を推進し、訪日外国人宿泊客数の増加につなげるよう努めていく。

参考:各地区における入込総数・宿泊客延数の比較

(単位:人)

入込総数

	釧路地区			阿寒地区			音別地区			釧路全体		
	H22	H23	前年対比	H22	H23	前年対比	H22	H23	前年対比	H22	H23	前年対比
4月～6月	474,700	398,639	-16.0%	177,572	147,518	-16.9%	4,564	3,668	-19.6%	656,836	549,825	-16.3%
7月～9月	774,599	782,038	1.0%	292,142	235,418	-19.4%	5,754	6,071	5.5%	1,072,495	1,023,527	-4.6%
10月～12月	406,904	415,112	2.0%	232,921	243,613	4.6%	798	405	-49.2%	640,623	659,130	2.9%
1月～3月	414,263	445,076	7.4%	319,754	304,569	-4.7%	370	287	-22.4%	734,387	749,932	2.1%
合計	2,070,466	2,040,865	-1.4%	1,022,389	931,118	-8.9%	11,486	10,431	-9.2%	3,104,341	2,982,414	-3.9%

宿泊客延数

	釧路地区			阿寒地区			音別地区			釧路全体		
	H22	H23	前年対比	H22	H23	前年対比	H22	H23	前年対比	H22	H23	前年対比
4月～6月	114,140	95,322	-16.5%	120,760	98,922	-18.1%	537	444	-17.3%	235,437	194,688	-17.3%
7月～9月	169,036	170,672	1.0%	177,558	149,859	-15.6%	2,524	2,645	4.8%	349,118	323,176	-7.4%
10月～12月	119,700	122,512	2.3%	120,542	113,723	-5.7%	270	273	1.1%	240,512	236,508	-1.7%
1月～3月	124,864	134,552	7.8%	144,827	137,346	-5.2%	217	191	-12.0%	269,908	272,089	0.8%
合計	527,740	523,058	-0.9%	563,687	499,850	-11.3%	3,548	3,553	0.1%	1,094,975	1,026,461	-6.3%

[2] 訪日外国人宿泊客延数の状況

1. 地区別人数(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:人)

	釧路地区			阿寒地区			音別地区			合計		
	H22	H23	前年対比	H22	H23	前年対比	H22	H23	前年対比	H22	H23	前年対比
中国	2,537	1,641	-35.3%	11,851	3,933	-66.8%	0	1	皆増	14,388	5,575	-61.3%
韓国	2,004	1,071	-46.6%	1,614	252	-84.4%	0	0	-	3,618	1,323	-63.4%
台湾	1,614	1,173	-27.3%	<b>19,535</b>	<b>21,136</b>	<b>8.2%</b>	0	0	-	<b>21,149</b>	<b>22,309</b>	<b>5.5%</b>
香港	720	933	29.6%	5,375	3,400	-36.7%	0	0	-	6,095	4,333	-28.9%
ロシア	<b>568</b>	<b>1,412</b>	<b>148.6%</b>	15	19	26.7%	0	0	-	583	1,431	145.5%
その他	1,846	1,593	-13.7%	10,187	3,580	-64.9%	0	12	皆増	12,033	5,185	-56.9%
合計	9,289	7,823	-15.8%	48,577	32,320	-33.5%	0	13	皆増	57,866	40,156	-30.6%

■訪日外国人宿泊客延数は、22年度より約3割減少し40,156人が宿泊。

■アジア圏が8割以上を占めており、国・地域別では、釧路地区が中国(1,641人)、ロシア(1,412人)、台湾(1,173人)の順に多く、阿寒地区においては、台湾(21,136人)、中国(3,933人)、香港(3,400人)の順に多い。